I-O DATA

B-MANU201375-01
M-MANU200838-01

はじめにお読みください

HDCR-Uシリーズ
HDCR-UEシリーズ

この度は、「HDCR-Uシリーズ」、「HDCR-UEシリーズ」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

・〈レグザ〉でお使いの場合は本紙のみご覧ください。また、パソコン以外の対応機器でご利用の場合は、対応するAV機器の取扱説明書もあわせてお読みください。
　パソコンでお使いの場合は、ご使用のOSに合ったセットアップガイド(Windows版、Mac版のいずれかのセットアップガイド)もご覧ください。
・〈レグザ〉、〈ヴァルディア〉、レグザチューナーで録画した番組とパソコンのデータを共存させることはできません。

内容物の確認

□ ACアダプター(1個)　□ USBケーブル(1本)[約1m]　□ ハードディスク(1台)

☑ はじめにお読みください(1枚)[本紙]
□ Windows版セットアップガイド(1枚)
□ Mac OS版セットアップガイド(1枚)

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターへご連絡ください。

シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:ABC0987654ZX)
▼シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。
■ユーザー登録 ➡ http://www.iodata.jp/regist/
■ファームウェア等のダウンロード ➡ http://www.iodata.jp/lib/

※縦置きでご利用ください。

動作環境

対応機種	■USB(2.0/1.1)インターフェイスを標準装備したパソコン ※USB 2.0インターフェイスでの動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。 ※USB2.0でご使用いただくには、USBポートおよびOSがUSB 2.0に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 1.1として動作します。 ■東芝ハイビジョン液晶テレビ〈レグザ〉 ZX9000, Z9000, H9000, R9000, R1BDP, ZX8000, ZH8000, Z8000, H8000, ZH7000, Z7000 ■東芝ハイビジョンレコーダー〈ヴァルディア〉 RD-X9, RD-S1004K, RD-S304K ■東芝レグザチューナー D-TR1
対応OS	Windows 7(32/64ビット版)、Windows Vista®(32/64ビット版)、Windows XP(32/64ビット版) Windows 2000 / Mac OS X 10.1～10.6 (注)サポートソフトウェアの対応OSは上記と異なる場合があります。詳しくは各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。 サポートソフトウェアについては別紙「Windows版セットアップガイド」の【サポートソフトウェアについて】をご覧ください。

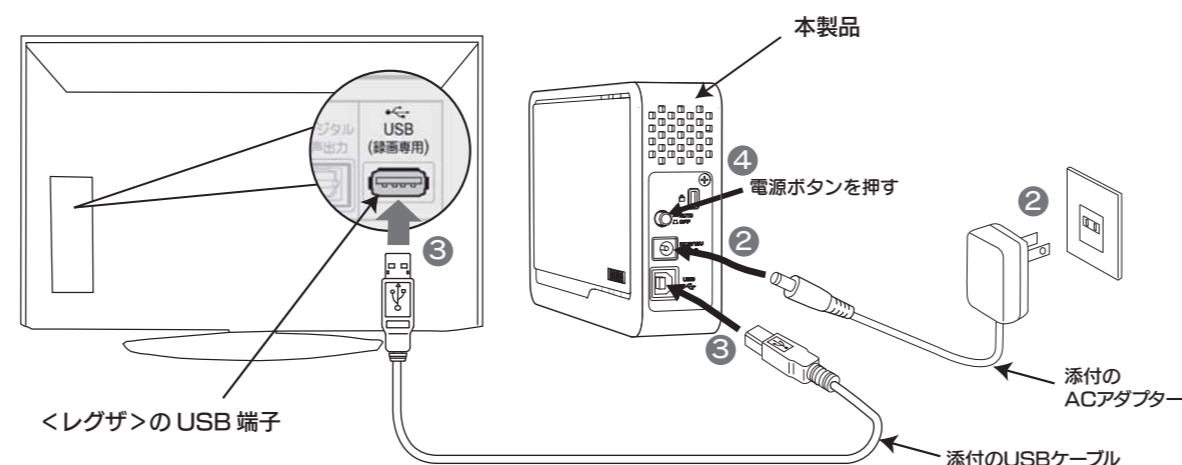
より詳しい対応機種情報は対応検索エンジン「PIO」をご覧ください　http:/www.iodata.jp/pio/

パソコンと接続してご利用の場合は、以下にご注意ください。
●起動用ドライブとしてはご使用いただけません。　●長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
●ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

〈レグザ〉と接続する

※以下の手順は、〈レグザ〉ZX8000シリーズの例を記載しています。

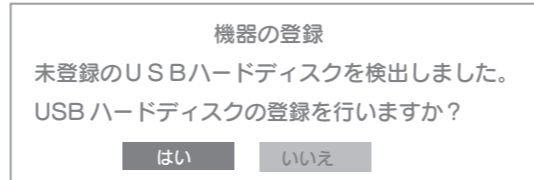
<レグザ>に接続します

1. <レグザ>の電源をオフします。
2. 添付の AC アダプターを本製品と電源コンセントに接続します。
3. 添付の USB ケーブルで<レグザ>の USB 端子と本製品を接続します。
   ※USB 端子の位置は<レグザ>の取扱説明書をご覧ください。
4. 本製品の電源ボタンを押します。

<レグザ>に本製品を登録します

ご注意

●本製品を<レグザ>で初めてご利用になる際は、<レグザ>で機器の登録を行なう必要があります。
機器の登録を行なうと、本製品のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、必要に応じて他のハードディスク/DVD/CDなどにコピーしてから、登録してください。
●録画した番組が保存されている本製品を、他の<レグザ>で登録すると、既に保存されている番組データは、すべて消去されます。
●<レグザ>への本製品の登録は、はじめて本製品を<レグザ>に接続したときのみです。次回からは必要ありません。

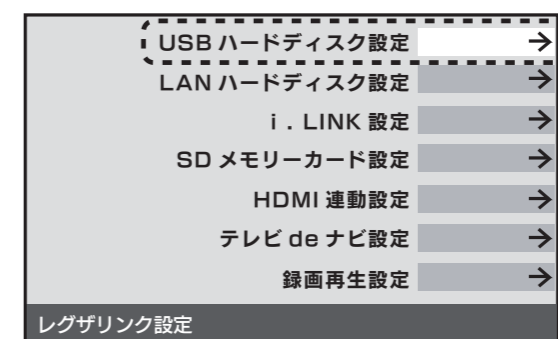
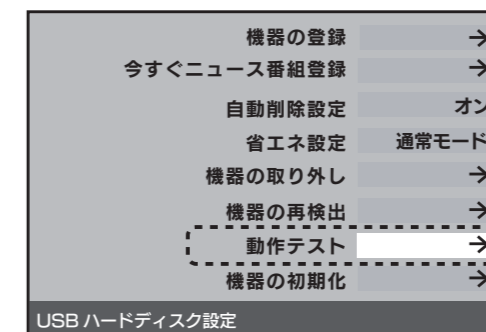
1. <レグザ>の電源をオンにすると、自動で本製品を認識し、以下のメッセージが表示されます。

機器の登録
未登録のＵＳＢハードディスクを検出しました。
USB ハードディスクの登録を行いますか？
はい　いいえ

※左記画面が表示されない場合はレグザのリモコンで以下の操作を行ってください。
① [設定メニュー] ボタン（ふたの中）を押します。
② [レグザリンク設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
③ [USB ハードディスク設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
④ [機器の登録] を選択し、[決定] ボタンを押します。

2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。以降は、画面の指示にしたがって操作してください。
3. 登録が終了しましたら、次に動作テストを行ってください。

動作テストをします

本製品で正常に録画および再生ができるかをテストします。

1. [設定メニュー] ボタン（ふたの中）を押します。
2. [レグザリンク設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
3. [USB ハードディスク設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。

4. [動作テスト] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   [決定] ボタンを押すとテストが始まります。終了までに数分かかります。

テスト結果

以下のテスト結果が表示されます。テスト結果が [OK] になった動作ができます

録画	ハイビジョン画質で録画ができるかテストします。
録画中の再生	ハイビジョン画質で録画しながら再生できるかテストします。
録画中の早見早聞	録画中に早見早聞ができるかテストします。

本製品を取り外すときは

本製品を取り外すときは、以下の手順で行ってください。

●<レグザ>の電源を切ってから、本製品を取り外す場合
<レグザ>の電源を切って、本製品の電源ランプが消灯してから本製品を取り外します。

●<レグザ>の電源が入っている状態で、本製品を取り外す場合
1. <レグザ>の取扱説明書を参照して、「機器の取り外し」を行います。
2. 本製品を取り外します。

ご注意
本製品に録画中などに誤って取り外しを行うと、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

使用上のご注意

東芝ハイビジョン液晶テレビ<レグザ>、ハイビジョンレコーダー<ヴァルディア>、レグザチューナーに接続してお使いいただく際は、以下にご注意ください。

●本製品と<ヴァルディア>との接続手順については、ご使用の<ヴァルディア>のマニュアル「準備編」をご覧ください。
●本製品とレグザチューナーとの接続手順については、ご使用のレグザチューナーのマニュアルをご覧ください。
●パソコンとハイビジョンテレビ<レグザ>、ハイビジョンレコーダー<ヴァルディア>、レグザチューナーを併用することはできません。
<レグザ>、<ヴァルディア>、レグザチューナーで初期化しますと、それぞれの製品専用フォーマットになります。
●<レグザ>、<ヴァルディア>、レグザチューナーに接続してご利用の際には、それぞれの製品の取り外し手順にしたがって取り外してください。
録画や再生中に本製品を取り外しますと、故障の原因となります。
●本製品と<レグザ>を接続する場合、<レグザ>に電源連動して ON/OFF します。<レグザ>は操作しない場合も、番組表の更新等、内部情報の更新のため、ハードディスクの電源が入る場合があります。
●故障などの理由で<レグザ>、<ヴァルディア>、レグザチューナー、もしくは本製品を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

安全のために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

〈警告表示〉

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

〈絵記号の意味〉

この記号は禁止の行為を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止し、電源を切って電源プラグを抜く。
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本体を濡らさない。
火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

発熱、火災、感電の原因となりますので以下をお守りください。

●**ACアダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しない。**
ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

●**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しない。**

●**ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などをしない。**

●**ゆるいコンセントに接続しない。**
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。

●**電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない。**
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

●**添付のACアダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない。**

●**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない。**

使用上のご注意

**本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。
また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。**

バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(ハードディスク、やBD・DVDメディアなど)にデータの複製を作成することをいいます。
外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

●**本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
《使用時/保管時の制限》
●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
●強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など) ●水気の多い場所(台所、浴室など)
●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど) ●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》
●保温、保湿性の高いものの近く(じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど)●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

●**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●**アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。**
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

●**本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。**

●**本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

ハードウェア仕様

インターフェイス仕様	USB 2.0、USB 1.1
電源仕様	AC100V±10%　50/60Hz
使用温度範囲	5～35℃(パソコンの動作する範囲であること)
使用湿度範囲	20～80%(結露なきこと、パソコンの動作する範囲であること)
本体質量	約1.0kg(本体のみ)
外形寸法	42(W)×185(D)×120(H)mm(本体のみ)

パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後にOSに表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

●本製品の容量：1GB=1,000MB、1MB=1,000,000Bで計算
●OS上で表示される容量：1GB=1,024MB、1MB=1,048,576Bで計算

例)500GBのハードディスクの場合

仕様容量	約500GB（＝約500,000MB）
OS上の表示	約465GB（＝約476,837MB）

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

1 弊社ホームページの[製品Q&A]をご確認ください

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

2 それでも解決できない場合は･･･

サポートセンターにお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3688**　東京…**03-3254-1095**
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のサポートソフトのバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。
また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●**内部のデータについて**
■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
■弊社では、データの修復は行っておりません。

●**お客様が貼られたシールなどについて**
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●**修理金額について**
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、「保証規定」の保証適応外に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●**以下をメモに控え、お手元に置いてください**
製品名 / シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。) / 送付日時

●**これらを用意してください**
■本製品の保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号] / 日中に連絡可能な電話番号 / 使用環境(機器構成、OSなど) / 故障状況(どうなったか)

●**修理品を梱包してください**
■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●**修理をご依頼ください**
■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

譲渡・廃棄の際の注意

データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください

本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

●情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
弊社製「DiskRefresher3 SE」をサポートライブラリよりダウンロードしてご利用いただけます。詳しくは別紙「Windows版セットアップガイド」の【サポートソフトウェアについて】をご覧ください。

ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ･オー･データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2010.03.23